

利根町男女共同参画推進プラン策定に向けた住民アンケート調査結果

町では、男性・女性それぞれのおかれている立場や環境の違い、住民の皆さまの日常生活に関する現状や意識を幅広く把握し、今後の男女共同参画施策に反映するため、8月に男女共同参画に関する住民アンケートを実施させていただきました。多くの住民の皆さまにアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

この度、アンケート結果がまとまりましたのでご報告します。なお、こちらにはアンケート結果の一部を掲載しておりますが、詳細につきましては、町公式ホームページまたは町内公共施設に設置してあります報告書をご覧ください。

閲覧場所

- 役場3階企画課
- 役場1階情報公開コーナー
- 利根町生涯学習センター
- 利根町公民館
- 利根町図書館

【調査概要】

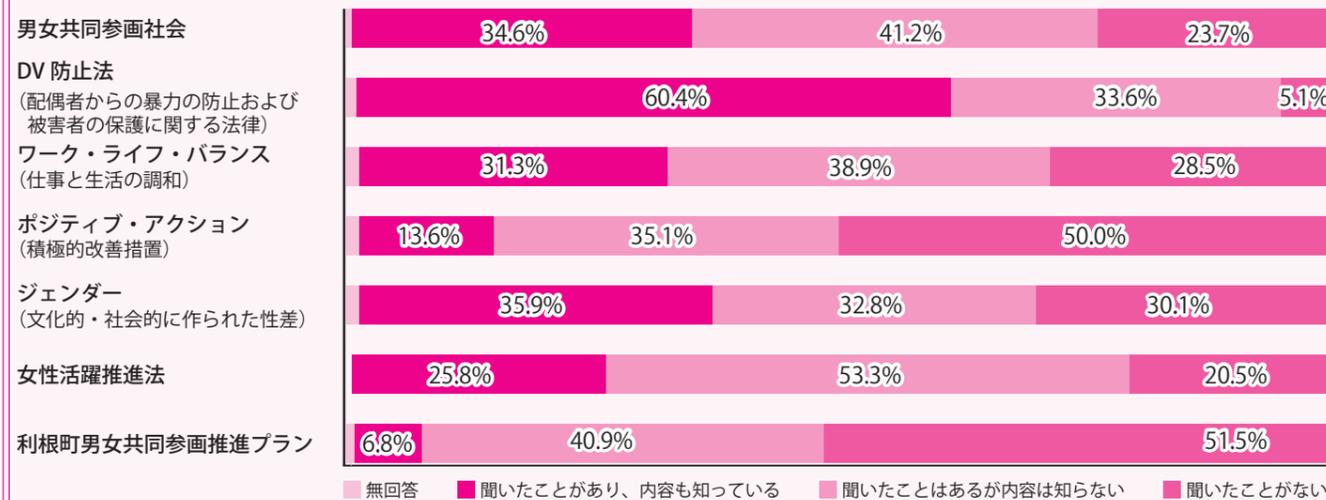
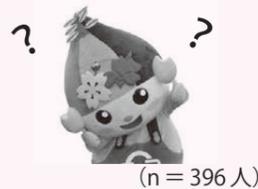
項目	内容
対象者	利根町在住の18歳以上の男女1,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	平成30年8月29日～9月21日
回答者数(n)	396人
回収率	39.6%

【調査項目】

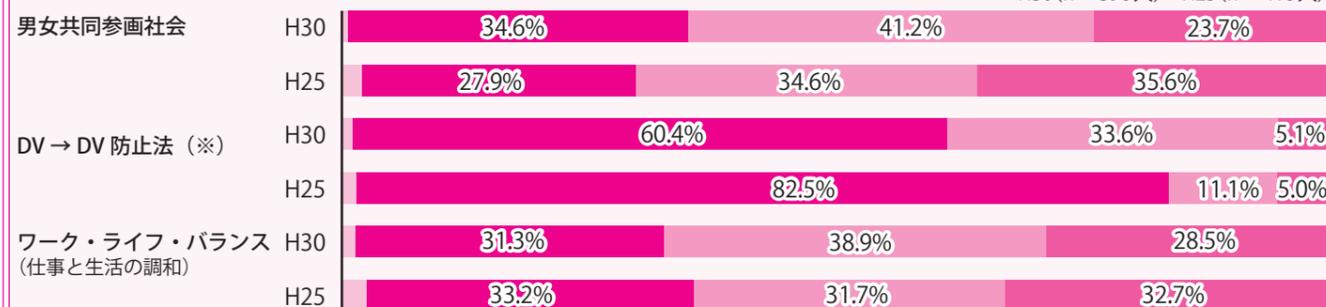
- ①男女共同参画に関する意識について
- ②家庭生活について
- ③地域社会について
- ④ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について
- ⑤仕事について
- ⑥日常生活の悩みなどについて
- ⑦介護について
- ⑧配偶者や恋人からの暴力について
- ⑨今後の男女共同参画の取り組みについて

男女共同参画に関する用語の認知度について

「聞いたことがない」の項目では、「利根町男女共同参画推進プラン」と「ポジティブ・アクション」が多く、「聞いたことがあり内容も知っている」の項目では、「DV防止法」が多くなっています。また、「男女共同参画社会」の設問では、前回調査からの比較をすると、「聞いたことがあり内容も知っている」と回答した人の割合が27.9%から34.6%と6.7%増加しています。



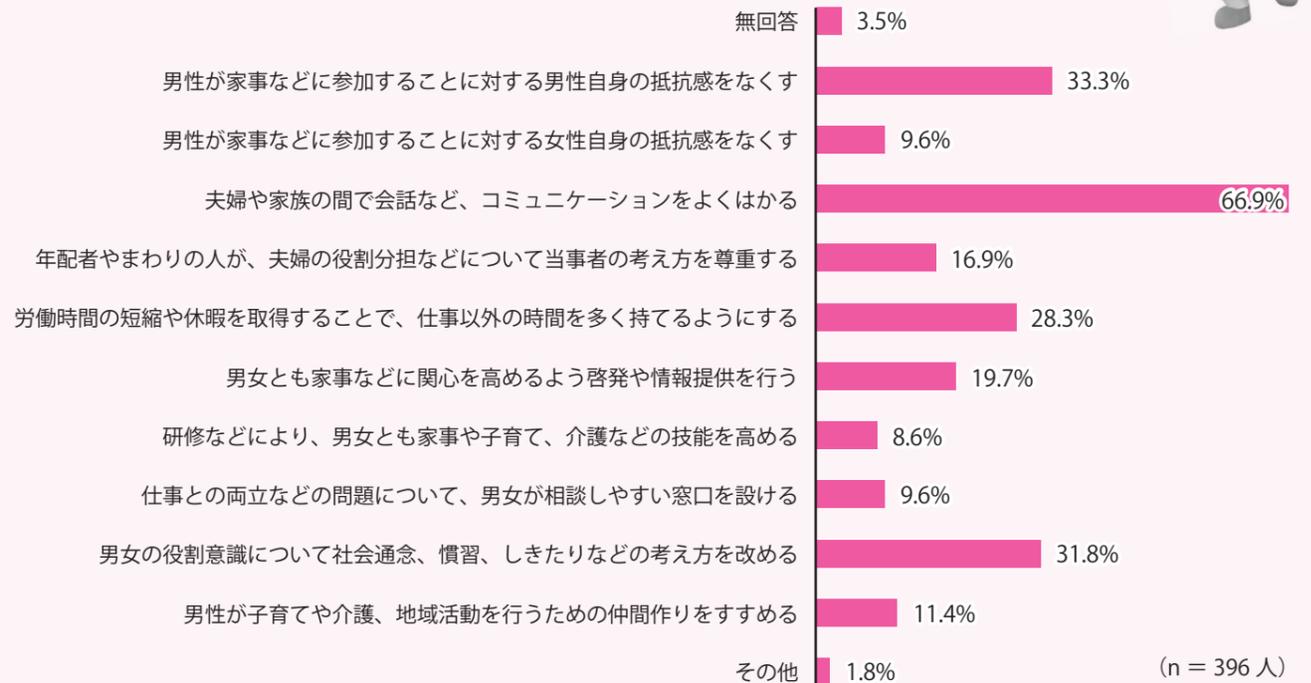
【前年比較】



※ DVの設問については、H25調査では、「DV」としたところ、H30調査では「DV防止法」と変更しており、正確な比較にはなりません。参考までに記載しています。

今後、家庭で男女がともに役割を分担しながら生活していくために必要なこと

家庭で男女がともに役割を分担しながら生活していくために必要なことは、「夫婦や家族の間で会話など、コミュニケーションをよくはかる」が66.9%と最も多く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」が33.3%となっています。



男女共同参画社会の実現に向けて、利根町が力を入れていくべきことは？

男女共同参画社会の実現に向けて町が力を入れるべきことは、「保育や介護サービスの充実など、仕事と家庭の両立支援」が45.5%と最も多く、次いで「「広報とね」などで、男女平等と相互の理解や協力についての周知・啓発」が30.3%となっています。

